

九州観光ビジネスプランコンテスト 2023

事業計画書

提出日 2023年 11月 1日

学 校 名	佐賀大学		
学部・学科名	経済学部・経済学科		
チ ャーム名 (個人参加の場合は任意)	呼子 Night 屋形船	エントリーNo.	43
<p>1. 取り組みテーマについて(なぜこのテーマに取り組んだのか)</p> <p>現状および課題認識</p> <p>唐津市の観光客数は、平成 19 年時点では 8,432(千人)であったが、以降右肩下がりを続け、令和 3 年度には、2,211(千人)まで減少している。またその内訳としても、毎年、宿泊客数に対し圧倒的に日帰り客が多い。(令和 3 年では日帰り客 1892(千人)、宿泊客 319(千人))※唐津市 HP(2023/07/28 アクセス)より</p>			
<p>2. 課題解決に向けた新たなアイデアについて</p> <p>呼子町の飲食店は朝～昼メインで営業している店舗がほとんどである。また、せっかく呼子に足を運んだ観光客たちも、イカを食っただけで帰ってしまう。せっかくの、全国的に有名な「呼子のイカ」という観光資源を存分に生かし、ただ食べて帰るだけではなく体験として呼子のイカを楽しんでもらうために、呼子の夜に海上で営業する屋形船を提案したい。</p> <p>以下、広報方法としては、SNS 上でのユーザーの発信を活用する。</p> <p>呼子町に関するフォトコンテストを開催し、Instagramと新聞で、参加者を募る。近年では、SNS の普及により、写真映えする観光地が人気を集めている傾向がある。上記の屋形船の様子や、呼子町にある七ツ釜をはじめとする海の景色、港町特有の雰囲気(特に、呼子では、珍しいイカの乾燥機や朝市の風景)を写真に収めてもらい、イカなどの名産を食べに来るだけであった観光客の滞在時間の延長を図る。また、良い写真を撮ろうとする際は、町全体の隅々まで目を配ることになるため、呼子ならではの街の風景の魅力を発見してもらう。応募方法は、メールなどにより直接運営に送信するだけでなく、Instagramを使用している参加者には、特定のハッシュタグをつけてInstagram上にアップすることを応募方法とし、呼子に行った参加者の屋形船の様子などの投稿を目にした、呼子町の魅力を知らないフォロワーの目にも、呼子の魅力が伝わるようにする。(実際に大学生などは、他人の投稿で魅力を感じた場所に行ってみたいと思うことがよくあるように感じる。)</p>			
<p>3. 九州や地域社会への影響について</p> <ul style="list-style-type: none">・新たなアイデアが九州や地域に及ぼす効果(誘客、活性化等)はどうか。 <p>観光客数が減少する呼子に活気を取り戻し、地元漁業の存続をはかる。</p> <p>糸島～唐津～呼子の。九州北部海沿いの観光客の流れを創出する。</p>			
<p>4. 事業化に向けたビジネスモデルについての具体的な紹介</p> <ul style="list-style-type: none">・商品・サービス・ノウハウなどを分かりやすくご説明ください。・「事業収入(提供金額)」「費用(事業コスト)」「告知手法」等を可能な限り記述してください。 <p>屋形船の詳細としては、すでにある漁船を 2～3 隻ほど結合する。</p> <p>その屋形船上で、釣り～イカさばき、調理、飲食の流れを、体験型で提供する。</p> <p>広報用のフォトコンテストに関しては、後日、住民投票などにより入賞者やグランプリを決定し、景品として佐賀県</p>			

内で観光や宿泊に使える商品券を贈呈する。このことにより、リピート客や、日帰りで写真撮影をしに来た観光客に、2度目は宿泊してもらい可能性が高まる。また、写真を撮ることによって思い出を形として残すことができるため、後から見返すことや SNS にアップすることができ、リピーターや知人の投稿を見て訪れる人が増える効果も望まれる。

5. 事業化後の目標、継続可能性や将来のイメージなどについて

人気が出れば、すでにある漁船ではなく観光専用の船を整備し、長期休み期間中などのより大幅な集客を図る。九州で唯一の釣り～飲食が楽しめる体験型エンターテインメントとして、呼子のイカのブランド力を最大限に生かし、全国に発信する。

将来的には、得た資金を民泊や市場の支援にあて、地域全体が一体となって観光業を推進していくことを目的とする。